

私の視察した歐米の幼稚園教育 (二)

堀 七 藏

二

横道にそれるやうであります。歐米の幼稚園教育の實況をお話するにさきだち、歐米諸國に於ける家庭生活を大要説明せねばなりません。これが私には非常に重大なる意義をもつてゐるのでありますから、御許を願はねばなりません。

六ヶしい理窟をのべる積りではありませんが、人類の生活は自然を支配してゐるといふよりも、自然に支配せられてゐるものであります。自然に順應し自然をよく利用した人類は現今發展し現代の文明生活をなしてゐるものであります。生物學的にいへば所謂適者殘存てあります。これは單に動植物のみに限つたことではありません。人

類も亦生物でありますから環境の支配を受けずして少しも生活をすることが出来ないものであります。これと申すのも實は歐米の家庭生活は歐米諸國の自然に適するやうな形式と内容を持つてゐるからであります。歐米の家庭生活は洋服を着て洋食を食つて洋館に腰かけて夫婦が寢臺生活をするといへば簡單であります。それにはそれ／＼由つて來る所があり、一朝一夕に出來上つた生活様式ではありません。それを何でも歐米のことであれば必ずよいもの、眞似すべきものと誤解することは非常に警戒を要すると思ひます。従つて歐米の幼稚園教育も歐米の家庭生活様式に適當なるやう發達してゐるのでありますから、それをその儘

我が國に移すことの無理は充分承知せねばなりません。私が紹介する歐米の幼稚園教育も直に眞似ることを前提となすものでないことをよく御考になつて御覽下さることを呉々も御願したい。それには歐米の自然がどんなであるか、歐米の家庭生活が如何にその自然に適應して發達したものか、豫め述べることが、眞に歐米の幼稚園教育を理解してその長を取り短をすてる所以かと思はれますので、わざ／＼と横道に入る譯であります。

三

今日歐米の文明生活を代表してゐる都市が如何なる所にあるかを注意して頂きたい。試みに世界地圖を繙いて見ますと、我が國は東經百三十五度を中心として位置してゐることが直に分りませう。また東京が北緯三十六度に近く、札幌が北緯四十三度、青森が四十一度、名古屋が三十五度、熊本が三十三度といふ有様で、三十度から四十度に廣

がつて居ります。勿論臺灣はその南端が北緯二十度に近くて著しく暑く、北海道は四十五度以上、樺太島は北緯五十度までが我が國の領地で非常に寒いこともよく御承知の所でありませう。ところが歐米の大都市の位置を我が國と比較して觀察いたしますと實に案外に感ぜられることがあります。數字を上げるとは至極御迷惑かと存じますが、數字がないと明白を缺きますから大ザツバナところ丈けても申上げねはなりません。

先づ英國のロンドンを見ますと、北緯五十一度でありますから我が樺太領の最北端の五十度よりも尙ほ北にあると分ります。同じく英國のスコットランドにあるエデンバラやグラスゴーは北緯五十六度。それからスカンヂナビヤのストックホルムは瑞典の首府でありますが北緯五十九度。挪威の首府オスロは六十度であります。丁抹の首府コッペンハーゲンが北緯五十六度で、ロシアのモ

スコも五十六度。レーニンラードは六十度といつた譯であります。こゝらの都市では北極光が見られることもある位で、五月半ばに出た太陽が七月末まで没せず、十一月半ばに没した太陽が翌年の一月末までも出て來ない北緯七十度に近い。それで夏は夜が非常に短くて、夜の十一時頃までも太陽が出て居り、朝一時すぎには太陽がまた現れる位。冬は反對に晝は非常に短く午前十一時までも太陽が出ず、午後二時にはもう暗くなるといふ有様であります。

更に獨逸のベルリンは北緯五十二度で、ロンドンよりも北。ハンブルグが五十三度で尙更北であります。南獨逸のミュンヘンでも北緯四十八度、オーストリアのウィーンが矢張四十八度、チエッコスローバキヤの首府ブラーグは五十度でありますから皆我が國樺太の大泊よりも北にあります。更に瑞西のチウーリツヒが北緯四十七度で、ジユネ

ープが四十六度。フランスのリヨンが四十六度で、流行の中心といはれるパリは四十九度であります。伊太利のローマでさへ北緯四十一度で青森と同緯度にあります。かく緯度に注意して歐洲の大都市を見ますと何れも我が國の北海道樺太に相當するか、それよりも北にあることが不思議ではありませんか。一言にして要約すると歐洲の文明は北緯四十五度から五十五度に發達してゐるといつても差支ないのであります。また米國に於ける大都市を同様に觀察しますと、ボストンが北緯四十二度で、シカゴも四十二度、ニューヨークは四十一度で、ワシントンが三十九度、サンフランシスコが三十八度といふ有様であります。それで米國の大都市は三十五度から四十五度の間にあり、歐洲にくらべると餘程我が國に近い譯であります。しかし何れも東京よりも北に位してゐることが分りませう。

四

動植物の生活が氣候に適應するから人類の生活様式も著しく氣候の影響を受けて變化するのは勿論であります。氣候は何といつても北になる程寒く、赤道に近づく程暑いことは説明するまでもありません。尤も海陸分布の状態や海流の影響等に

よつて氣候が著しく異なるのは明白であります。今茲に歐米諸國の大都市で、一年間に於ける最低溫度と最高溫度、更に平均溫度を表解して參考といたしませう。熱心なお方は面倒でも注意して是等の數字を吟味して頂きませう。數字は攝氏であります。

國名	都市名	最高溫度	平均溫度	最低溫度	最高溫度の差
日本	札幌	二〇・九	六・九	零下六・四	二七・三
	青森	二二・九	九・三	零下二・六	二五・五
	東京	二五・五	一三・九	三・〇	二二・五
	名古屋	二六・六	一四・五	三・二	二三・四
	京都	二六・二	一三・八	二・六	二三・六
	岡山	二六・九	一四・五	三・六	二三・三
	熊本	二七・〇	一五・五	四・六	二二・四
	北九州	二六・〇	一一・七	零下四・七	三〇・七
	上海	二七・四	一五・四	三・六	二三・八

英領	香港	二七・八	二二・一	一五・四	一二・四
ロシヤ	モスコ	一八・九	三・九	零下一〇・四	二九・三
	レニングラード	一七・八	四・二	同 七・四	二五・二
瑞典	ストックホルム	一六・六	五・六	同 三・五	二〇・一
諾威	オスロ	一七・〇	五・五	同 四・五	二一・五
丁抹	コッペンハーゲン	一六・七	七・九	〇・二	一六・九
英國	ロンドン	一六・八	九・八	三・五	一三・三
	エデンバラ	一四・八	八・三	二・七	一二・一
獨逸	ベルリン	一八・一	八・五	零下〇・七	一八・八
	ハンブルグ	一七・〇	八・六	〇・〇	一七・〇
	ミシユンヘン	一七・二	七・四	零下三・〇	二〇・二
奧國	ヴイーン	一九・〇	九・一	同 一・六	二〇・六
チエツコス	ブラーグ	一八・八	八・六	同 一・六	二〇・四
ローバキヤ	チウリツヒ	一八・五	八・五	同 一・五	二〇・〇
瑞典	ジュネーブ	一九・三	九・五	〇・〇	一九・三

佛 國

リヨン 二〇・一 一〇・六 一・五 一八・六

パリ 一八・三 一〇・一 二・三 一六・〇

イタリー ナポリ 二四・四 一六・〇 八・四 一六・〇

ローマ 二四・五 一五・四 六・九 一七・六

合衆國 ポストン 二一・八 九・二 零下二・八 二四・六

ニューヨーク 二四・〇 一・四 同 〇・五 二四・五

ワシントン 二四・七 一二・七 一・一 二三・六

シカゴ 二二・五 九・七 零下四・三 二六・八

サンフランシスコ 一六・二 一三・二 九・八 六・四

右の表を見ると我が國の夏は札幌さへも二十度九分で、二十五度以上の所が多いのであるが、ヨーロッパには伊太利を除いては殆ど二十度以上のところがない。概して日本の春の氣温であります。従つて私共が夏ヨーロッパにあてセルやアルバカなどの夏服を用ひませんでした。私は八月中旬にイタリー旅行をして間服で通し一しよのお友達

は冬服で「暑い」とは申しましたが、近年にない暑いといふイタリーの夏を旅行した位であります。それでロンドンなどは春夏秋冬とそれ違つた服が必要ではない。外套を以て簡単に調節し得るので婦人の服装でも我が國に比べると遙かに種類が少く單純であります。アメリカは夏は我國のやうに二十度以上になります、これも乾燥

してゐますから我が國の如く薄い夏服を是非必要
といたしません。殊にサンフランシスコの如きは
我が國の春の氣温でありませう。かく歐米諸國は
一般に夏の氣温が低いから我が國やイタリーの如
く米がとれないのであります。稻は元來熱帶性の
植物でありますから歐米ではイタリーのミラノ地
方とアメリカではカリフォルニアに米作を見る位
であります。他は麥を作るより外なく、馬鈴薯、
砂糖大根の如き寒帶性のものが收穫せられるに止
まるのであります。獨逸國に秋九月末から十月始
にかけて馬鈴薯休業が中等學校小學校に二週間あ
る位で、歐米諸國の植物性食品がパンやジャガイ
モを主とすることも自然の影響から來てゐること
が分りになりませう。

またこの表では直接分りませんが、歐米の一年
は大體に夏と冬とて春と秋がないといつてもよい
のであります。殊に北ヨーロッパでは四月までの

氣候が著しく低く、五月になると急に暖くなつて、
九月末にはガタツト氣温が降り、寒く冬になりま
す。殊にロンドンでは五、六、七の三月がロンドン
シーズンと稱せられる位愉快な氣候で、男女老幼
を問はず公園の芝生の上にねころんで日光浴を
なし、電車でもモーターバスでも二階に昇つて日
光を少しでも受けんとしてゐるやうに見えます。

この頃のロンドンの晝間は誠に長いのであります
が、日射は強くありませんから、日當のよいとこ
ろにゐても決して暑くはありません。従つて芝生
での日光浴は實に氣持がよいのであります。七月
上旬のことでありませんが、私はロンドン郊外にあ
る王室公園のキューガーデンを見物に行つたとき
のことです。澤山の人々が芝生の上に寝ころんで
ゐるから「どんなであらう」と、物ずきに私も日當
りのよい所に仰向けに大文字をきめこんだのであ
ります。我國では不作法にも見えませうが、英國

ドンに出たときは昨年十一月廿日頃から今年の一
月一日までであります。一日も路上の水が氷と
なつたことがあります。濃霧の著しい日もあり
ましたが、一般にロンドンの冬は霧で空が覆はれ
た有様でありますから夜中でも気温が零度以下に
なることは殆どないので氷も張らず、また霜もあ
りることがありません。従つて芝生が年中青々と
してゐるのであります。これは到底我が國でも
またニューヨーク邊でも見られないこととありま
す。

尙ほ歐米諸國に於ける溫度や雨量等につき比較
研究すると氣候が我が國と如何に相違するかを明
白になすことが出来ますが、あまり横道の問題に
拘泥する傾がありますから氣候に關してはこの位
に止めます。

五

更に歐米の自然につき豫め述べて置きたい事が

あります。それは歐米の諸國民はもと游牧の民で
水草を追ふて移動したことであります。今日でこ
そ英國でも獨逸でも耕地して麥をつくり砂糖大根
等を栽培してはゐますが、昔は土地が悉く水草を
以て被はれてゐたもので今日でも英國の大部分は
牧場であり、和蘭・白耳義でも、丁抹でも瑞西で
も國をあげて牧場であるといつてよい位でありま
す。獨逸は化學工業の進歩に伴ひ肥料の力で麥や
砂糖大根をつくつてゐる耕地も少くないが、それ
でも牧場が多いことは單に汽車旅行をして見ても
察せられるのであります。私の知人で一ヶ年和蘭
にゐたのです。つかり牛がすきになつた人がありま
す。この人はもとは牛がきらひであつたが右を見
ても左を見ても牛といふ和蘭の生活で牛がすきに
なり瑞西旅行のときにも牛の寫眞を多く集めて居
りました。位牛がすきになつたのであります。これ
位和蘭には牧場が多く牛が飼育してあります。和

蘭チーズは有名なもの、之に對して瑞西チーズも上等な洋食には多く使用せられることは皆さんが御承知のところでありませう。獨逸ホルスタイン地方はホルスタイン牛の本場、丁抹から獨逸も牛が多い。英國では牛馬やあひる、雞が非常に多く飼つてありますが、また綿羊の多いことも驚く位であります。日射の量が少く氣候が寒い爲めに植物を耕作するよりも牧草をつくり牛馬を飼育して動物性食物をとることがヨーロッパの如き自然に適應した生活でありませう。また綿羊や羽毛や毛皮を利用して防寒用となすも自然に適應した生活様式であります。總じて寒帯生活をなすもの程肉食をなし、動物の毛皮などを利用して防寒用となすことは明白な事實であります。それがだん／＼

温帯生活になる程肉食に加ふるに菜食となり、我が國などは動物性食品と植物性食品との混食、いづれかといへば植物性食品が六分、動物性食品が

四分。或は七分三分位かも知れません。更に熱帯に近づくると自然の果物などが主食品となり殆ど肉食をしなくなることは印度人の生活を見ても分ります。

かゝるヨーロッパに生活する民族は我が大和民族の如く二千五六百年以上も土着したものと異り、所謂水草を追つて移轉する游牧の民であります。今もヨーロッパ各地に放浪してゐるデブシーの民が居り、國家なき大民族として有名な猶太人などは游牧の民の好見本かも知れません。相當古き歴史を有し傳統を仲々に尊重する英國人も第五世紀頃サクス、アングル、ユートの三種族が英國に侵入して七王國を建てたものと歴史家は申します。これが所謂アングロサクソン人種。若し注意して西洋史を繙けばヨーロッパでは民族移動が非常に盛であつたことが直に分ります。アングロサクソンは第九世紀頃北方より侵略して來たノル

マン人種又その一族デイーン人に惱まされ、蒙古人種であるマジヤル族は第九世紀頃ドイツに侵入し、またテムチンは第十三世紀頃ヨーロッパを侵略したといふやうに北方より南方に、東方のアジヤより西方にといふやうに絶えず民族が移動しその間に勢力の消長があり生存競争があつて今日のヨーロッパの文明が生れたものであります。かくヨーロッパ民族の生活が水草をよつて移動し、牛馬を飼育して専ら生活の資料を得たのでありますからその生活が夫婦單位となつたものであります。今日残つてゐる新婚旅行も男女がホームをつくり、親と分れその飼育する牛馬を率ひて水草の多い谷に移つた遺風と見て差支ない。またヨーロッパ人が旅行を好みキャンプ生活を樂しむのも游牧生活から來てゐるので、三千年間も土着生活をした吾々日本人とは著しく異なる所でありませう。また生活が兎角簡單で移動し旅行し易さもヨーロッパ

ツバ人が長く游牧生活をした結果でありませう。移動し旅行するには道路橋梁を必要とするので土木事業が勢ひ發達するのも當然であります。水草を追つて移動する生活には昆蟲毒蛇の害を防ぐため寢臺が考案せられ腰掛ける生活となるも土着の生活と異なる點でありませう。土着生活をなすものが四圍より受くる害敵を防ぐには弱き女性をかくし強き男性が飛出すのが當然であり、移動して生活を營むものには弱き女性を助けて進まねばならぬから一方に於ては女性第一の習慣となり他方に於ては女性も努めて男性と歩調を二にせねばならぬ必要もありませう。牛馬が生活の唯一の資料たる游牧の民では動物を愛護するも自然の結果であらう。その所有する牛馬雞犬を伴つて移動する生活をなすときは自活し得る子女が獨立するのが便宜である。自活し得る若き男女は親を離れて新婚旅行をなし新しき地に新しき家庭を營む様式は土

着生活をなす民族には到底發達せぬ生活様式でありませう。かく觀察して見るとヨーロッパの家庭生活はヨーロッパの自然に適應して發達したものである。ヨーロッパの自然に適應した生活をなすには現代のヨーロッパの物質文明が示す生活法によらねばならぬが、我が國に於て果して適するか否は即斷出來ない。ヨーロッパの生活が善惡良否の問題ではなく果して我が國に於て適するか否かの問題でこれは單に西洋でやつてゐるから我が國でもやるといふ單純な考ではならないと思ひます。更にアメリカは過去百年間の移民で發展した國ヨーロッパ各國からの民族が生活資料の得易い所に發展したのでありますからヨーロッパよりも一層歴史もなく傳統もなく全く現實の生活移動性に最も富んだ生活様式であるといつてよいと思ひます。

電 信 棒

和田都久路

雨の降る日も

風の日も

己がつとめを

怠らず

物をも言はず

立つて居る

辛抱強い

電信棒

(一九二七・四)